

第 10 回斜面工学研究小委員会 議事録

日時：平成 28 年 7 月 7 日（木）14：00～17：30

場所：土木学会 D 会議室

出席者（敬称略、順不同）：片山、吉川、茂木、鈴木、美馬、吉田、上野、櫻井、中村

報告事項

1. 前回議事録の確認

鈴木委員長より、前回委員会の議事録について報告がなされた。

2. 地盤工学委員会報告

鈴木委員長より、6/9（木）に開催された第二回地盤工学委員会の議事録の報告がなされた。本小委員会にも関わることとして、来年度重点研究課題の申請について提案がなされ、前向きに検討する運びとなった。また、9月に東北大学で開催される予定の平成 28 年度の土木学会で、地盤工学委員会堤防研究小委員会による「河川堤防の安全性を如何に守るか」と題した研究討論会について紹介された。

3. 熊本地震関連

鈴木委員長より、H28 年 4 月 23～24 日（地盤工学会と合同）ならびに 6 月 2～3 日に実施した熊本地震被害の調査内容ならびに、4 月 27 日に開催された「熊本地震被害調査結果速報会」についての報告がなされた。なお、6 月 2～3 日の調査メンバーで現在報告書を作成中で、近日中に完成することも併せて報告された。

審議事項：

1. 書籍販売促進

今年の 8 月頃までに、販売部数 1500 部を目標としている。委員会開催の前の週の時点での 1177 冊で、あと 300 冊は売上を伸ばしたい。前回委員会での議論、①夏休みを利用した学校の先生、子供たちを対象とした防災教育を行う、②防災教育の専門家に宣伝する、③小学校に販売する、④献本用の書籍が余っているため、積極的に活用の 4 点を踏まえ、委員による買取りの協力や藤井副委員長（欠席のため鈴木委員長がメールを代読）よりアンカー協会に再度お願いして協会員に購入の働きかけを行うことが報告された。

2. 熊本地震災害調査の継続

鈴木委員長より、今後も熊本地震の継続調査を継続していくかの是非について質問がなされた。土砂災害が多発している上に、社会的関心も高く、復興までの地震がかかることが予想されることから、本小委員会でも今後も継続して調査をすることが確認された。

3. 地質巡検

ハスバートル委員より 2017 年夏のモンゴル巡検に関する提案が出されており、本会議に欠席のハスバートル委員に代わって鈴木委員長が説明を行った。具体的なコースなどの詳細はまだ決定していないが、今後スケジュールを決めて参加者を募っていくことが報告された。

4. その他

鈴木委員長より、次回委員会(9/27 予定)で来年度以降の次期小委員会について協議する旨の話があった。

話題提供：神原規也氏（エイト日本技術開発）より「LiDAR を用いた地すべり・崩壊に対する地形解析」と題して発表していただいた。

以上